838
297
116

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

藤原
近藤
秀郷
近藤武者所景頼
近藤
直満
近藤兵庫助
満泰
近藤民部丞
移ス刑名即ち理
近藤主税助
正満
近藤助次郎
文明十三年ヲ以テ定
法名善法

正景 近藤治郎兵衛 傳次郎

政友 近藤兵部 永正十年三月生 元和元年六月卒 法名高橋大神居士 天文九年九月卒 法名高橋大神居士

政明 近藤助左衛門 天文十七年十月生 永禄十年十月卒 法名高橋大神居士 始称七郎右衛門尉 為高橋十騎之内 会戦得選上所有 慶長四年為上使 以神宝陸亜卿勅使 従二位権大納言 元和元年六月卒 法名高橋大神居士

政成 近藤助左衛門 始称七郎右衛門尉 永禄六年生 寛永九年十月卒 法名高橋大神居士 寛永元年為上使 以神宝陸亜卿勅使 従二位権大納言 元和元年六月卒 法名高橋大神居士

政晴 近藤助左衛門 天正八年生 元和元年五月卒 法名高橋大神居士

政純 近藤左衛門 近藤助左衛門 政晴弟 寛永元年為上使 以神宝陸亜卿勅使 従二位権大納言 移相州維島

近藤右兵衛

勝明 母権加氏女

寛喜元年生 文永二年二月廿日卒 年七十二

勝重 近藤四郎右衛門

元和五年生 正保元年閏十月廿日卒 年七十九

勝延 近藤左兵衛尉

寛永十五年生 延宝元年十月廿日卒 年六十六

勝基 近藤平助

寛永十年生 元禄十五年十二月廿日卒 年七十六

勝政 近藤平助

寛永十年生 元禄十五年十二月廿日卒 年七十六

勝郎 近藤平助

生年 延宝元年生 享保七年卒 年四十三

女 夏目次郎左衛門妻

女 近藤平助妻

某 近藤平助

寛文元年生 享保十二年卒 年七十二

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

勝記　近藤平助
　妻　[illegible]方　川[illegible]
元文五年[illegible]十七生[illegible]
安永八年[illegible]二[illegible]朔七十[illegible]五[illegible]
同九年[illegible]寛[illegible]完[illegible]
寛政九年[illegible]七十二朔[illegible]七[illegible]
[illegible]文化七年[illegible]十[illegible]五[illegible]
同八年[illegible]七十九[illegible]同九年[illegible]

某　近藤助五郎
　嗣

某　近藤改五郎
　母[illegible]羽半兵衛一[illegible]
近藤助右ヱ門　五兵衛
　明和五[illegible]
　[illegible]文[illegible]

勝高
　嗣
　妻宇野澤掖按[illegible]世子

明和五年[illegible]十六生[illegible]
天保文化八年[illegible]七十九[illegible]朔[illegible]
小十郎組同十七年[illegible]子跡[illegible]文保五年[illegible]二[illegible]
法号[illegible]浄[illegible]到[illegible]

　子
勝行　近藤半蔵
　嗣
　[illegible]
　[illegible]
　[illegible]

女子　　又
　宇野沢掃部助妻
近藤敏五郎
晴利
　母同
寛政七年乙卯十二月生
文化十二年乙亥二月廿九日
近藤乃至組文政五年壬午二月九日

女子
　母同
政近　　又
　母同

女子
　母同
勝吉　近藤又二郎
　母同

女子
　母同

隆　近藤富次郎
　主馬

文政五年壬午十月廿九日　家督七百石
牧野出雲守組同九年丙戌十二月廿五日組支配
上総介隆　同十二年己丑十一月廿日　従五位下侍従
焼香間席

文化七年庚午十月廿日

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

近藤家

正満 近藤某男初生

正真 近藤伝蔵左衛

政友 近藤某部之名

之名六年九月六

露 近藤助進 出名

生年童之名初年

政晴 近藤

政明 近藤助成

近藤少介

近藤助考介改晴房

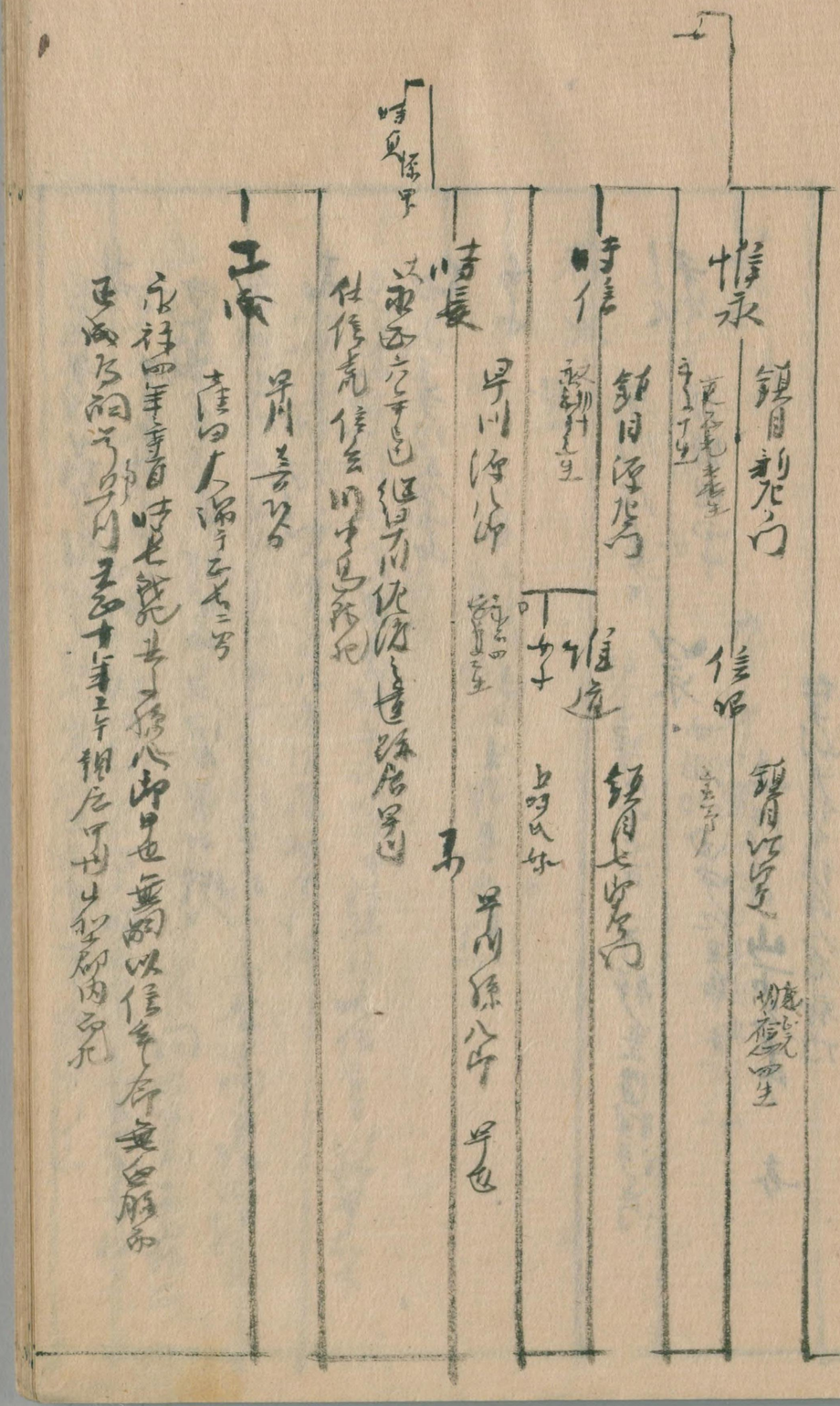
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用

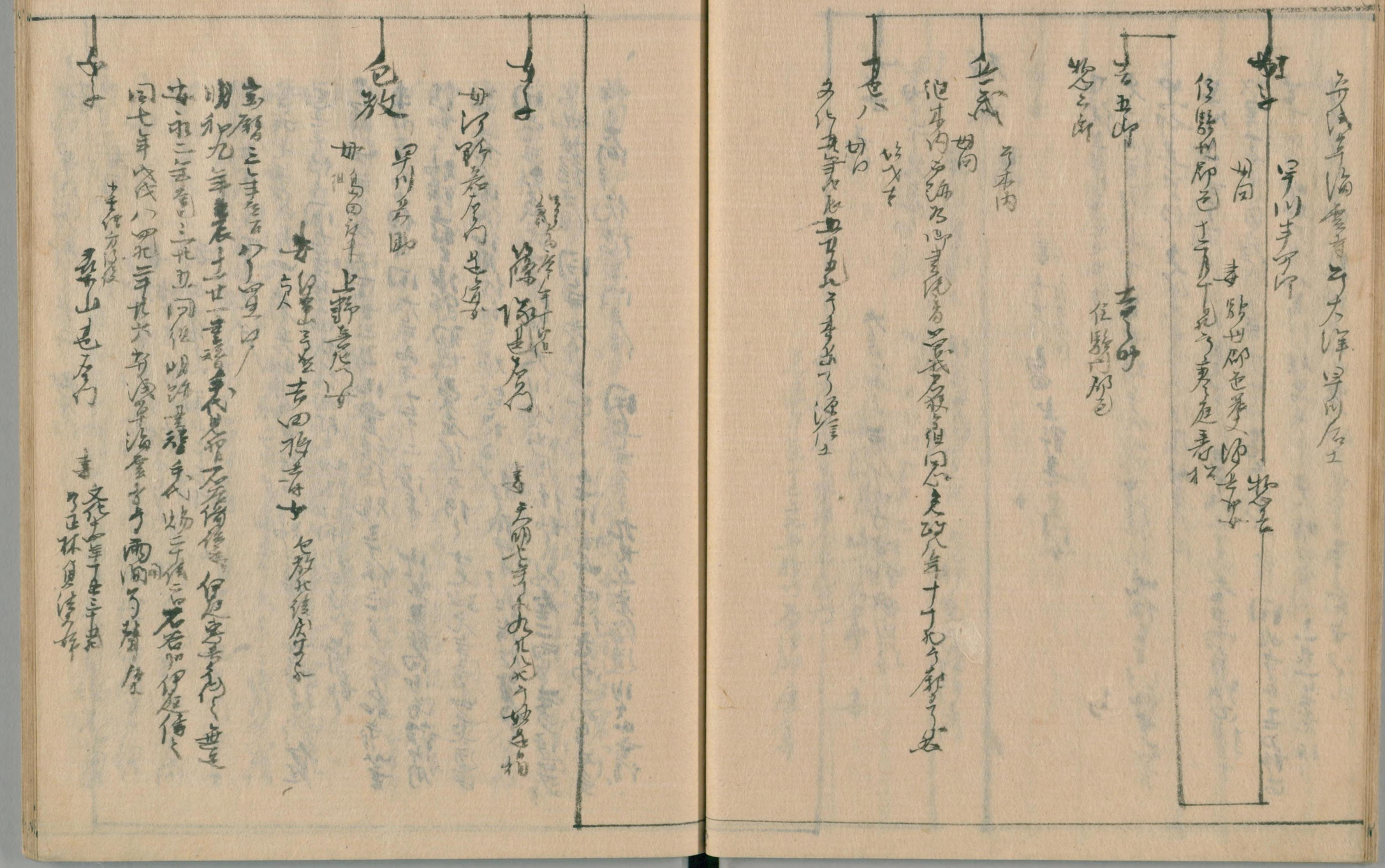
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

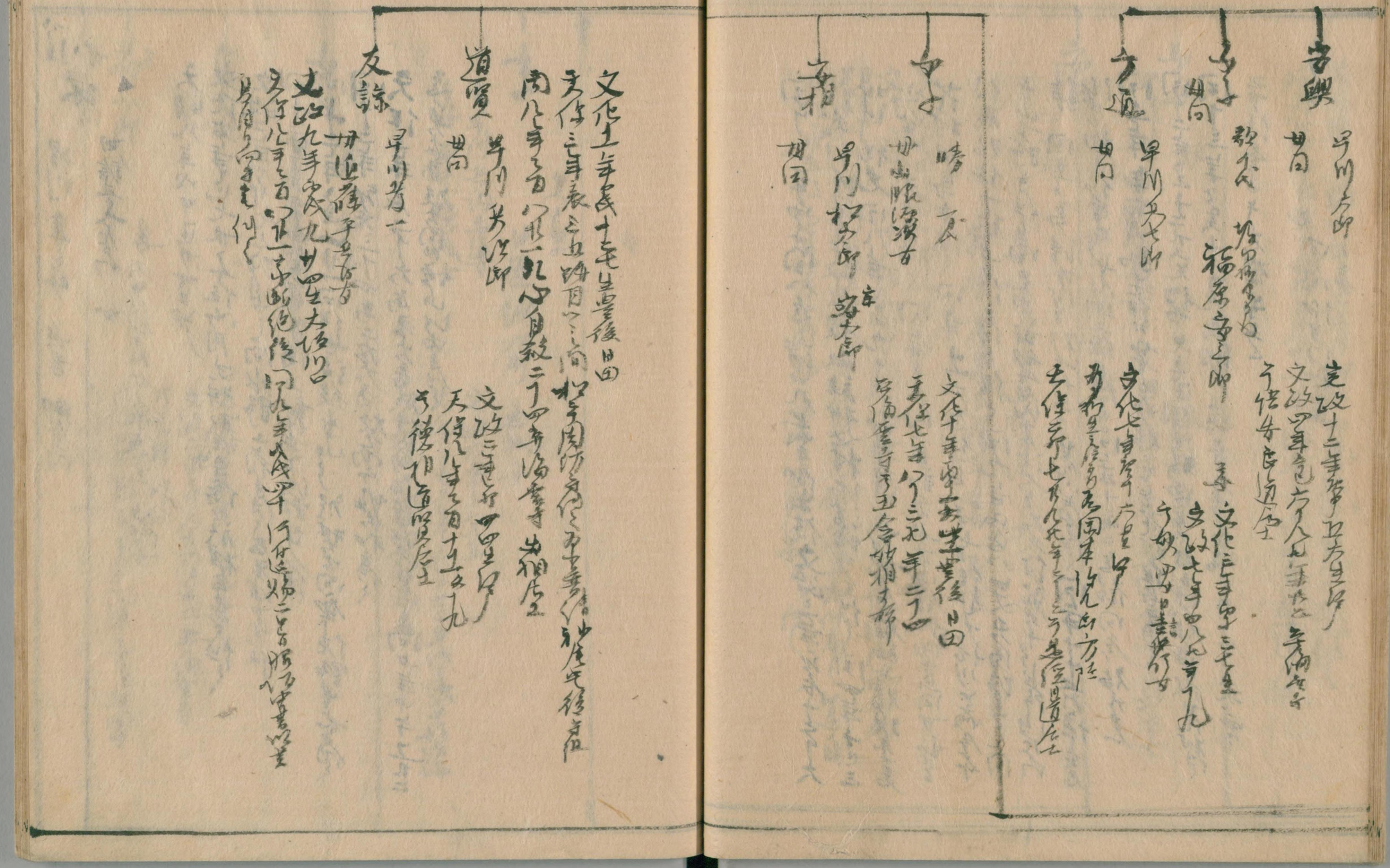


甘司

寿光院道書居士　慶長十年乙巳正月廿
女　秋田城之介実季室　十七日

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

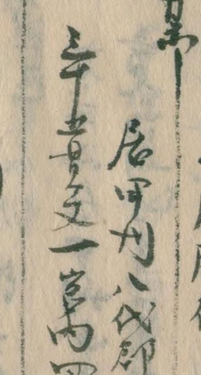
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

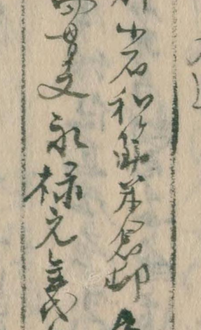


清和源氏

早川

甲州巨摩郡之知郷領之





早川国重
国重
早川厚吉
無号也
悦
福田
福田半助
正好
福田半助
正義
福田半右衛門

賜三十貫

女子　福王丸

正勝　福田半左衛門
生二男
本領肥前国彼杵庄
大神居賜三州宮三十貫
永禄三年三月長崎陣後同十二年
肥前力同十九年三月三州之内
都合壱千石

某　福田方義

女子

女子

某　福田半之助　母
生二男
又四郎　百五石

正知　福田藤左衛門　母同
生二男
慶長五年三十七歳関ヶ原御供仕
大神居直野村十二石被下候
騎射御在城中遣到勤仕
同十九年三月浪人
翌寛永十年十月被召出
御道中御供仕
御扶持方百五石

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

菅原道真十四代

村山 本國伊豫 紋 [illegible]

江州甲賀郡多羅部鄉 [illegible]

寅俊 村山左近將監

住所未詳

寅光 村山越後

住江州蒲生郡小倉庄

寅俊 村山將監

住江州

寅俊 村山長門

住蒲生郡小倉庄

寛永十三年更名和泉

村平右衛門尉伊豫州濱田

松山城時從行焉六百石

寛永十三年更名和泉

斷絶故村平陸奥守忠頼時

採用復十石勤村山頼春當主勤ム

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

出後　村山長之助　長尾

寛永十二年甲戌三廿三新規為中山門方召抱物七十俵五
同十五年戊寅十二九分為府藩摂津守組
勤功被召出正保四年丁亥十二月二日
従前俸之通　五人扶持　元和二年丙辰五月三日卒

永俊　村山勘七郎　付札等除之
智

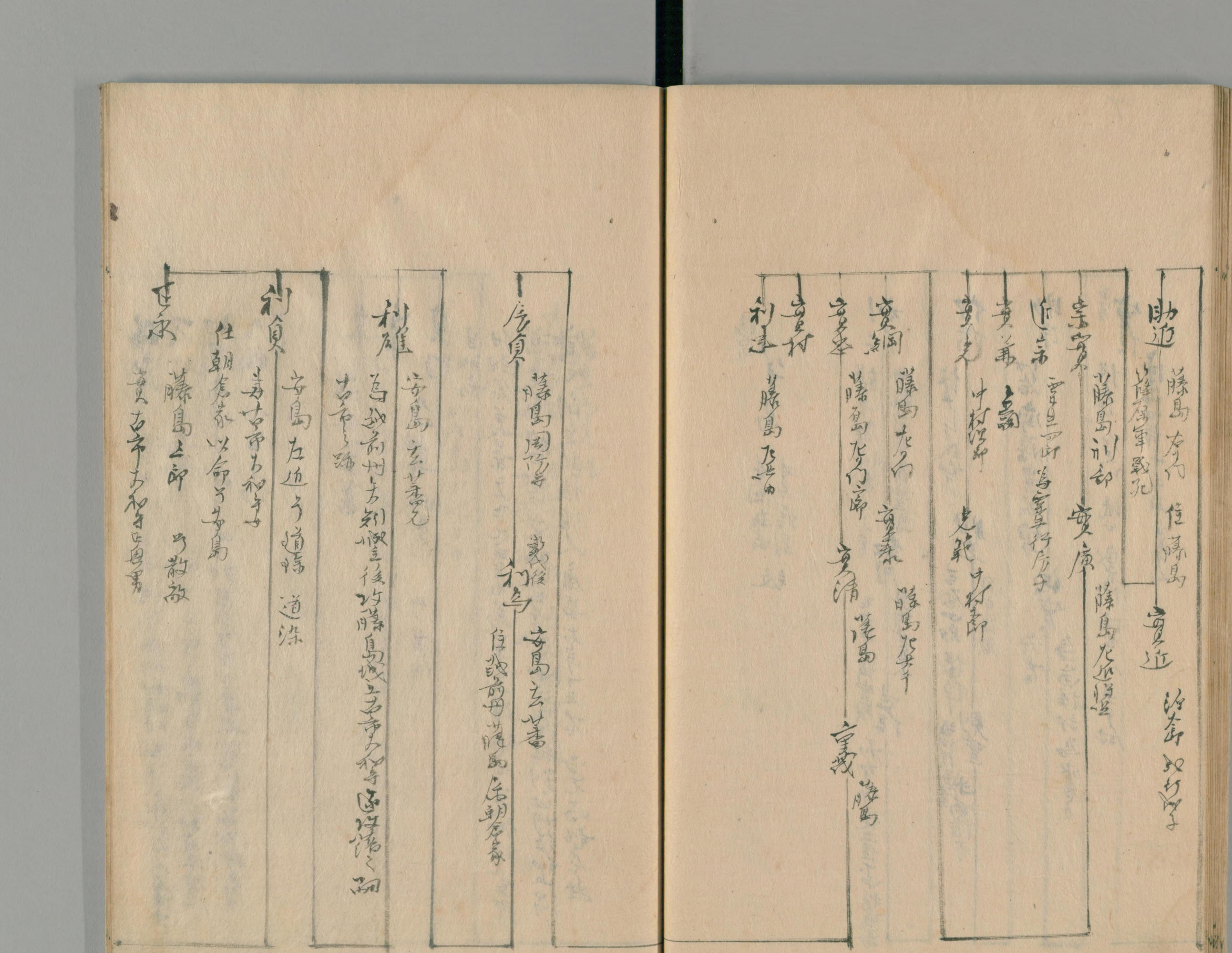
嫡　村山権之
　　妻　某氏　摂津国三田村新兵衛
寛文九年酉五十八部屋住為勤功大番士御徒
天和二年戌父長之助跡被
仰付候　百俵　五人扶持
正徳四年午三月二日卒

嫡　村山長之助
　　母三田村新兵衛
正徳四年午五月六日　百俵　五人扶持
享保二年酉十月七日為
若狭守大酒井隠岐守家従
元文元年辰

勝家

牛島

助近　藤島孝介　住藤島
　　藤原軍戦死



藤島 六十六 和泉守正興 嫡男 助左衛門 幼名 助五郎 初時 男子二人 幼名 助五郎 初時

女子 於西島左近利貞夫男子幼年也無程大和守死後

幼男為浮屠十六歳而自害義景以尋根仕義景為主師而著

于朝月坊有軍功

藤島 玄蕃

女子 八十島 助左衛門 于肩道清

貞仍 生歟 前

仕朝倉義景 天正元年義景滅亡後 龍出宛於柴田修理亮勝

亦書通 四留守 文禄二年 名護屋 御陣 御発 病死 剃髪後浪人 唐津 寺沢志摩守 広高 ニ 招到 仍而仕 和泉守 得

貞 生歟 前

仕朝倉義景 天正元年義景滅亡後 龍出宛於柴田修理亮勝

亦書通 四留守 文禄二年 名護屋 御陣 御発 病死 剃髪後浪人 唐津 寺沢志摩守 広高 ニ 招到 仍而仕 和泉守 得

貞顕 八十島 四郎兵衛尉 于肩道清

生歟 前

元和四年 卯年 又道清 別名 仕 陸奥守 忠宗 ニ 招到 仍而仕 陸奥守 忠宗 ニ 招到 仍而仕 陸奥守 忠宗 ニ 招到 仍而仕

明暦二年 丙申 九月 九日 卒 歳 七十 九 移于加賀州

嘉堂文庫蔵書

元和四年 卯年 又道清 別名 仕 陸奥守 忠宗 ニ 招到 仍而仕 陸奥守 忠宗 ニ 招到 仍而仕

明暦二年 丙申 九月 九日 卒 歳 七十 九 移于加賀州

貞顕 八十島 四郎兵衛尉 于肩道清

生歟 前

佐六郎　為兄跡相續

佐六郎

寛文元年辛丑　和泉守召移備前岡山城
勢州清水白米一百石之地三百石之地看米調渡候
下者忽其後以石野字改延享元甲子年
相子助と通仕奉公勢力特現苦労名文祢九年丙子年
為名附領地加役
四ツ石高ニ而此地ニ而元禄十丁丑年
高千島同断

小柴　本国上野

新田大炊助義重之後流川之助二郎義繁男小柴二郎四郎義春始而
小柴村名ニ附ル

氏記
居上州小柴

氏重　小柴刑部左門
長福元年丙申　西北石取治郎兵衛
戦死

某　小柴左京進
初名源左衛門　小柴右京進
住摂津国
住長尾伊勢守

心月善立　永禄二年己未十二月七日
小柴右京

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

小栗文麦
元亨三年三月廿四日卒
于源照院寛月了満居士
小野寺
後
道秀
小栗鍋四郎 林九郎 新左衛
延文四年己卯九月廿五日卒
于時元年廿五
自五十五年平五年間寺
于顕玄院真月寛阿居士
寿春又三郎 春子
子和三年癸未六月廿四日卒
于真光院寿阿妙相尼
小栗
中栗三左衛門
貴有
貴有
多島氏男
貴有
貴有
小栗助重
道秀
貴有
貴有
貴有

小栗

某　彦根作左ヱ門
新規為御先手植村平助左ヱ門組並

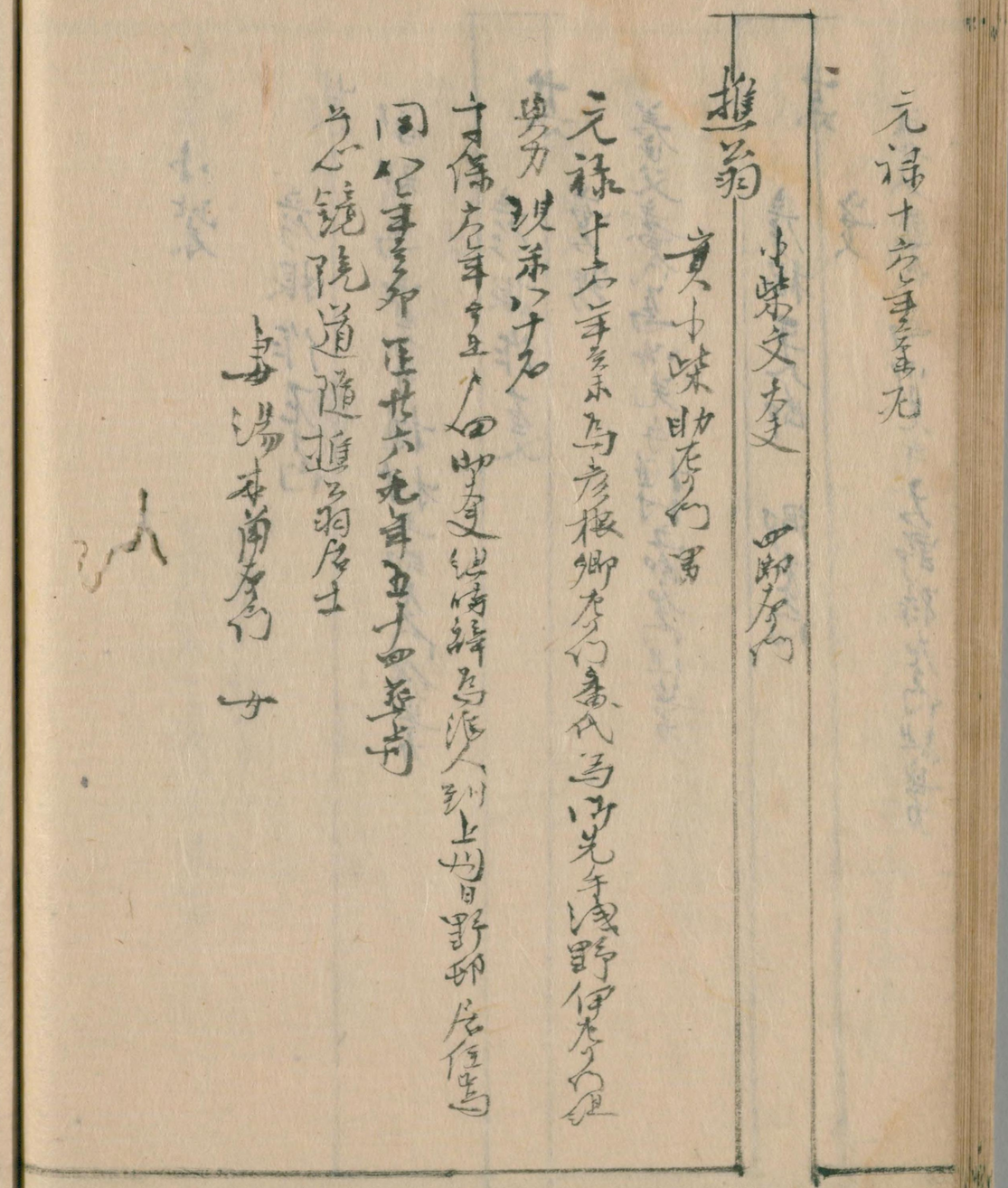
某　彦根作左ヱ門
實男
養父喜氏為御先手植村平助左ヱ門組並

某　彦根平八郎　御使番
實
養父喜氏為御先手大野孫左ヱ門組並

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

838
297
116

元禄十六年癸未九




国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用